

## 大会時・コロナ禍での取組

・2018年：2020TDM推進プロジェクト説明会に参加。  
大会時対応の検討開始

### 人の流れ

きっかけ

以前より実施

オリバラ

コロナ禍

#### □ テレワーク

実施率6割。一部出社せざるを得ない部署もあった

#### □ サテライトオフィスの設置・利用

グループ会社運営のサテライトのほか、民間サテライトオフィスを利用

#### □ 手続きの電子化

既設のシステムを使用。加えて、社内押印及び契約押印等を電子化

#### □ 会議等のオンライン化

Zoom会議を推奨。研修、採用もZoomで開催

#### □ オフピーク通勤

#### □ 有給休暇の計画的な取得の促進・実施

### 物の流れ

きっかけ

以前より実施

オリバラ

コロナ禍

#### □ 配送時間や運行ルートの見直し

#### □ 取引先に大会時の配送への影響を説明

紙書類の納品がある取引先等に大会時の配送への影響を説明し、理解いただいた

#### □ 備品等の調達についての調整

コピー用紙を事前に多めに購入し、1~2ヵ月ほどストック

### 取組ポイント

- 会社より、出勤に関する社内通知等で取組を呼びかけ
- 自宅に限らずサテライトオフィス等も含めてリモートワークを推奨
- 技術本部が提供する社内システムを活用し電子化を推進

### 取組ポイント

- 2020TDM推進プロジェクトの提供する情報等を基に配送への影響見込みを事前に把握
- 各部署で取引先と事前調整
- ストック確保等が必要な物を検討して対応

## 今後の取組

### 人の流れ

継続して取組を実施予定

#### □ テレワーク

これまでと同様、実施率6割以上を予定  
今後、社員ニーズ等も踏まえて目標設定していくことも検討

#### □ サテライトオフィスの利用

#### □ 手続きの電子化（社内・社外問わず）

#### □ 会議等のオンライン化

#### □ オフピーク通勤

#### □ 有給休暇の計画的な取得の促進・実施

### 物の流れ

#### □ 物量の調整

#### □ 配送時間の変更

#### □ リードタイムの緩和

#### □ その他物流の効率化

#### □ 取引先との配送に関する調整

#### □ 取引先や協力企業などサプライチェーンで連携した取組

## 【東京2020大会を振り返って】

- ・東京2020大会では、コロナの影響もあったと思うが、想定していたほど影響はなかったという印象だった。
- ・テレワークの取組が進み、ここまで出来るということが分かったので、継続して取り組んでいきたいと思っている。
- ・社屋がある九段下は、日本武道館があり、観光客など人の往来が多くなることが予想されたので、大会輸送影響度マップ等を参考にしていた。実際には無観客となり、想定していたより混雑せず、あまり影響はなかった。有観客だった場合、もっと対応しなかったらならなかったことは多かったと思う。
- ・2020TDM推進プロジェクトからのメールマガジンは、新しい情報のキャッチとその都度の判断材料として、非常に役に立った。